

【令和5年度生ごみ処理機器モニターレポート Vol.20】

生ごみ処理機器を使用したモニターの声伝えていきます。



こちらの方は、2人家族で堆肥化目的のモニターです。

普段から生魚などは乾燥中および乾燥後の臭いがきつくなることから、投入しないようにしており、野菜、果物、コーヒー豆などを投入することが多いそうです。

また、堆肥として使用するために乾燥後の生ごみをコンポストに投入しており、ひと手間かけなければ堆肥化できないことがデメリットと感じているそうです。

	9月12日	10月1日
処理前の生ごみの重さ (g)	546 g	671 g
処理後の生ごみの重さ (g)	401 g	408 g
処理モード (標準・ソフト等)	パリパリ	パリパリ

【令和5年度生ごみ処理機器モニター事業について】

令和4年度に続き、令和5年度も釧路市では生ごみ処理機器の新たなモニターを募集し、使用した感想を発信していくことで生ごみの減容・減量化への意識を醸成していく取り組みを行っています。

皆さんも、モニターの声をもとに生ごみの減容・減量化に取り組んでみませんか？

※掲載されている内容は、あくまでも生ごみ処理機器を使用した感想であり、機器の性能評価ではありません。

【問合せ先】

釧路市市民環境部環境事業課

TEL 0154-31-4551 FAX 0154-24-4145

ka-haikibutu@city.kushiro.lg.jp